

大学コンソーシアム関門

特別聴講学生 募集案内

C o n t e n t s

大学コンソーシアム関門 単位互換協定制度について

平成28年度開講科目

- ・コーディネート科目「関門学」
- ・大学提供科目「現代の教養」

出願について

- ・出願資格
- ・出願方法と出願期間
- ・出願する前に確認しておきたいこと

履修許可について

- ・履修許可
- ・履修が許可になったら

科目の受講について

- ・講義会場までの通学について
- ・受講に際しての注意
- ・講義の欠席について
- ・受講に関する問い合わせについて
- ・休講、補講、教室変更などの通知

成績評価について

- ・評価について
- ・各科目の評価方法

問い合わせ先一覧

講義会場へのアクセス

講義概要

大学コンソーシアム関門 単位互換協定制度について

「大学コンソーシアム関門」は、北九州、下関両市の高等教育機関が相互に連携・協力することにより、関門地域の高等教育の充実及び発展を図るとともに、地域社会へ貢献することを目的としています。

また、大学間で単位互換協定を締結したことで、学生は在学する大学以外の講義を「特別聴講学生」として受講することが可能となりました。修得した単位は所属する大学で認定されます。

単位互換協定参加大学に在学する大学生であれば受講することが可能です。出願料及び受講料は無料です（ただし、実習・演習の場合は実費を徴収することがあります）。受講を希望する学生は、所属大学の定める方法により所属大学へ出願してください。

平成 28 度開講科目

コーディネート科目【関門学】 4科目

科目名	受講可能学年	科目提供大学	講義期間	会場
関門の自然環境とそのエネルギー	1年以上	九州共立大学	8月22日(月)～8月26日(金) 10:40～16:10	A
関門地域論	2年以上	下関市立大学	9月5日(月)～9月9日(金) 10:40～16:10	B
地域文化遺産の保存・活用	1年以上	九州国際大学	9月12日(月)～9月16日(金) 10:40～16:10	C
北九州・下関地域の魅力ある企業を知る (COC+事業)	1年以上	北九州市立大学	8月29日(月)～9月2日(金) 10:40～16:10	D

大学提供科目【現代の教養】 2科目

科目名	受講可能学年	科目提供大学	講義期間	会場
北九州市の工場見学を通して、ものづくりと環境について学ぶ (産学公連携講座)	2年以上	北九州市立大学	8月29日(月)～9月1日(木) 集合時間は後日指定	E
課題解決演習 ～デザイン思考による課題解決～	1年以上	西日本工業大学	8月17日(水)～8月19日(金) 9:00～17:50	F

講義会場：

- A＝九州共立大学 深耕館（北九州市八幡西区）
- B＝下関市立大学（下関市）
- C＝九州国際大学 地域連携センター サテライトキャンパス（北九州市八幡西区）
- D＝北九州市立大学 サテライトキャンパス（北九州市小倉北区）
- E＝各企業・団体 及び 北九州まなびとキャンパス（北九州市小倉北区）
- F＝西日本工業大学 地域連携センター（北九州市小倉北区）

出願について

●出願資格

単位互換協定参加大学に在学する大学生であれば出願することが可能です。単位互換協定参加大学に所属する交換学生も、所属大学の許可があれば本制度を利用して出願を行うことができます。

●出願方法と出願期間

出願は平成28年4月に行います。履修を希望する学生は、所属大学によって出願方法と出願期間が異なりますので、詳細は、所属大学担当窓口で確認の上、手続きを行ってください。

●出願する前に確認しておきたいこと

- ★出願できる科目及び修得できる単位数は、所属大学において認められた単位数以内とします。詳細は所属大学担当窓口で確認してください。
- ★各自の修得単位や必修科目の修得状況を確認し、進級要件や卒業要件が不足しないように履修計画を立てた上で出願してください（特に、卒業年次生は注意が必要です）。
- ★評価の確定が年度末となるため、平成28年9月卒業予定者は出願することはできません。
- ★講義会場までの通学時間を考慮の上、無理のない履修計画を立ててください。
- ★科目によって、履修できる学年の指定が異なるので注意してください。

履修許可について

●履修許可

出願希望については科目提供大学が確認の上、結果については、所属大学を通じて、5月頃に出願者に通知します。なお、施設等の関係上、受け入れ人数には限りがあります。出願希望者が多数の場合、履修が許可されないこともありますのでご了承ください。

●履修が許可になったら

履修が許可された学生は、科目提供大学における「特別聴講学生」となります。履修許可後、所属大学によっては、履修登録等の手続きが必要となりますので、所属大学担当窓口で確認してください。

科目の受講について

●講義会場までの通学について

通学については公共の交通機関を利用してください。

●受講に際しての注意

受講の際には、必ず所属大学の「学生証」を携帯してください。

●講義の欠席について

出欠をとる講義もあります。その場合は、講義担当教員の指示に従ってください。止むを得ず講義を欠席する場合、事前に欠席を届け出る必要はありません。

ただし、出席回数が評価に反映される科目もあります。

●受講に関する問い合わせについて

受講上の不明な点がある場合は、まず所属大学の担当窓口にご相談ください。

●休講、補講、教室変更などの通知

休講などのお知らせは、原則として、科目提供大学が所属大学へ通知します。受講学生は、所属大学の掲示板等で確認してください。

成績評価について

●評価について

履修した授業科目は、授業担当教員が成績評価（素点）を行った後、所属大学の成績評価方法に基づき、単位が付与されます。

●各科目の評価方法

各科目授業担当教員の成績評価方法は、以下のとおりです。

科目名	科目提供大学	成績評価方法
関門の自然環境とそのエネルギー	九州共立大学	授業態度及び理解度 40%、レポート課題等 60%
関門地域論	下関市立大学	講義ごとの質問及び感想 50%、レポート 50%
地域文化遺産の保存・活用	九州国際大学	レポート
北九州・下関地域の魅力ある企業を知る (COC+事業)	北九州市立大学	講義への出席及び各講義終了後の小レポート 50%、最終レポート 50%
北九州市の工場見学を通して、ものづくりと環境について学ぶ (産学公連携講座)	北九州市立大学	授業 80% (講義時の質疑応答と終了後の小レポート)、最終レポート 20%
課題解決演習 ～デザイン思考による課題解決～	西日本工業大学	発表・行動等による総合評価

※試験やレポート提出は科目提供大学の規則によって行います。試験欠席による追試験は実施されません。万が一、所属大学の試験等と日程が重複した場合は、必ず事前に所属大学担当窓口にご相談し、指示を受けてください（原則として、所属大学の試験が優先となります）。

問い合わせ先一覧

【大学コンソーシアム関門事務局、単位互換協定参加大学】

大学名等	事務担当窓口	担当窓口連絡先
大学コンソーシアム関門事務局	北九州市立大学	093-964-4106 kiban@kitakyu-u.ac.jp
北九州市立大学	学務第一課	093-964-4106 kiban@kitakyu-u.ac.jp
九州共立大学	教務課	093-693-3073 kyoumu@kyukyo-u.ac.jp
九州国際大学	学務事務室	093-671-9010
下関市立大学	学務グループ教務班	083-252-0289 kyomu@shimonoseki-cu.ac.jp
西日本工業大学	学務部デザイン学務事務室	093-563-2221

※受講上の不明な点がある場合は、まず所属大学の担当窓口にご相談してください。

講義会場へのアクセス

【九州共立大学】 JR 折尾駅よりバス7分、徒歩15分
〒807-8585 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8



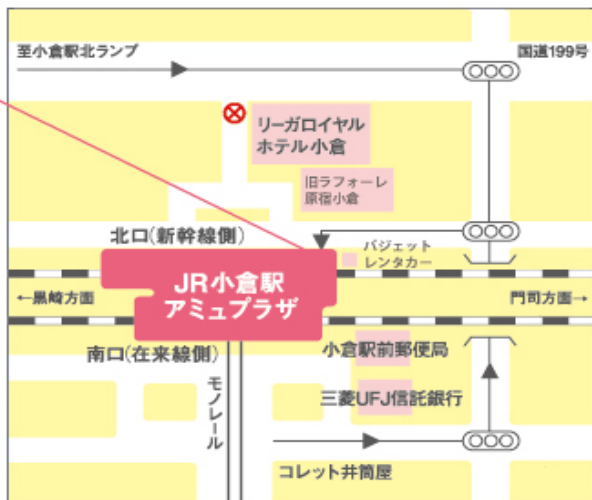
【下関市立大学】 JR 下関駅よりバス25分、山の田または大学町2丁目バス停下車、徒歩3分
JR 幡生駅より徒歩20分
〒751-8510 山口県下関市大学町2丁目1番1号 TEL : 083-252-0288



【九州国際大学地域連携センター】 JR 黒崎駅より徒歩 1 分
 〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 2 階 TEL : 093-631-2203



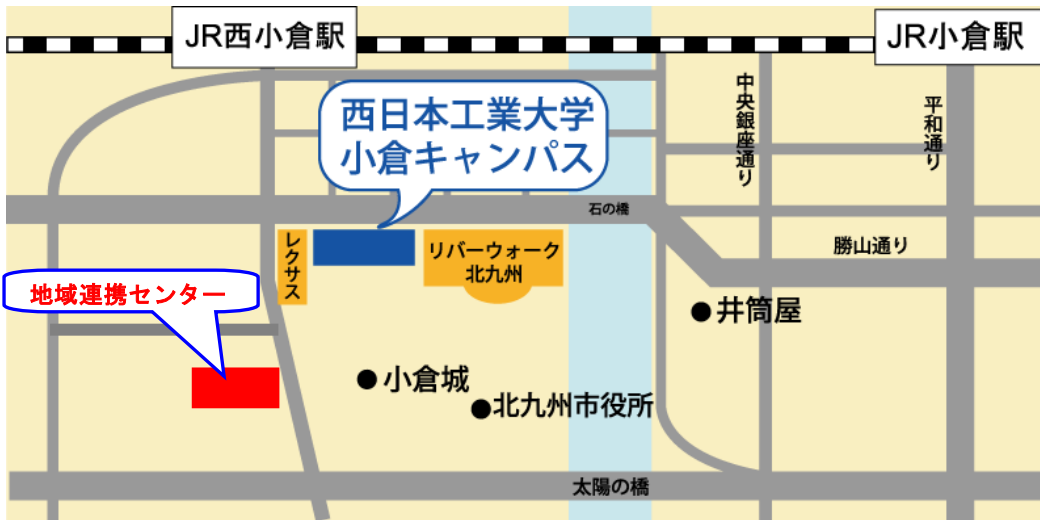
【北九州市立大学サテライトキャンパス】 JR 小倉駅 AMU プラザ西館 7F
 【まなびとJOBステーション】 JR 小倉駅 AMU プラザ西館 8F
 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 1 丁目 1-1



【北九州まなびとキャンパス】 JR 小倉駅より徒歩 10 分
 〒802-0006 北九州市小倉北区魚町 3 丁目 3-20



【西日本工業大学 地域連携センター】 JR 西小倉駅より徒歩 7 分
〒803-0811 北九州市小倉北区大門 1-5-1 TEL : 093-563-3221



講義概要

科 目 名	関門の自然環境とそのエネルギー
担 当 者 名	成富 勝、小島 治幸、宇野 美津夫

履 修 条 件	1年生以上	単位数	2単位
期 間	8月22日(月) ～ 8月26日(金) 10:40～16:10 (2時限～4時限)		
講 義 会 場	九州共立大学 深耕館 2階 S204教室		
科目提供大学	九州共立大学		

授業のねらい・テーマ	21世紀は人類にとって環境・エネルギー問題が大きなテーマです。身近な関門海峡を取り巻く地域の自然環境やその特徴を知り、自然保護やエネルギー利用法を学ぶことで、環境に対する知識を深めることができます。講義全体のキーワードは、自然環境・自然保護・自然エネルギーです。		
テキスト	各担当教員による資料配付		
参考文献	必要に応じて、担当教員が授業中に紹介		
授業内容またはスケジュール	1回	関門地域の自然環境と古環境 ～故きを温ねて新しきを知る	【成富 勝】
	2回	関門地域の音環境 ～鳥啼いて山更に幽かなり	【成富 勝】
	3回	関門地域の多様な生き物と植物 ～人間もイキモノ	【成富 勝】
	4回	関門地域の環境保全 ～真に豊かな、心地よい社会を築こう	【成富 勝】
	5回	関門地域の自然災害 ～備えあれば憂いなし	【成富 勝】
	6回	関門海峡とその周辺の潮流 ～潮流はどのように起こり、どのくらい速いのだろう	【小島 治幸】
	7回	関門海峡とその周辺の海岸 ～いろいろな海岸とその自然特性	【小島 治幸】
	8回	関門海峡とその周辺の干潟海岸 ～貴重な干潟海岸とその自然環境	【小島 治幸】
	9回	海に存在する波 ～いろいろな波の中で怖い波は何だろう	【小島 治幸】
	10回	関門地域の自然災害 ～津波から身を守るためには	【小島 治幸】
	11回	関門海峡の再生可能エネルギー ～自然エネルギーの種類と善し悪しを考えよう	【宇野 美津夫】
	12回	河川エネルギーの利用とその可能性 ～日本の川は流れが速い	【宇野 美津夫】
	13回	風力エネルギーとその効果 ～風は向かい風、追い風	【宇野 美津夫】
	14回	海流エネルギーの種類と利用法 ～海に囲まれた日本は有利か	【宇野 美津夫】
	15回	世界の海洋エネルギーの動向と関門海峡への応用 ～世界を知って地域を考えよう	【宇野 美津夫】
授業に対する準備事項	<ul style="list-style-type: none"> ・配布した資料をよく見ておくこと。 ・新聞やテレビで知った地域や環境の情報を思い出して授業に臨めば興味が湧きます。 		
成績評価の方法	授業態度及び理解度：40%、レポート課題等：60%		

科目名	関門地域論
担当者名	リレー式で担当

履修条件	2年以上	単位数	2単位
期間	9月5日(月)～9月9日(金) 10:40～16:10(2時限～4時限)		
講義会場	下関市立大学 本館I-201教室		
科目提供大学	下関市立大学		

授業のねらい・テーマ	<p>関門をめぐる健康・スポーツ・レジャー</p> <p>【概要】 関門地域における健康・スポーツ・レジャーに関して、各方面の専門家が1日3コマのオムニバス形式で講義し、理解を深める。講義を通じて、関門地域における健康・スポーツ・レジャーの今後の発展の可能性について考える。</p> <p>【到達目標】 関門地域における健康・スポーツ・レジャーを多面的に概観し、理解を深めることで、それらの中から課題を発掘し、解決に向けたアプローチを探る。</p>																																													
テキスト	特に定めない。																																													
参考文献																																														
授業内容またはスケジュール	<table border="1"> <tr><td>1回</td><td>オリエンテーション</td><td>【小笠原 正志】</td></tr> <tr><td>2回</td><td>子ども運動</td><td>【松崎 守利】</td></tr> <tr><td>3回</td><td>長州藩に伝わる水泳訓練</td><td>【那須 章浩】</td></tr> <tr><td>4回</td><td>健康で過ごすための運動</td><td>【鍵村 昌範】</td></tr> <tr><td>5回</td><td>健康で過ごすための食事</td><td>【宗 まりこ】</td></tr> <tr><td>6回</td><td>若さと健康維持のための必要活動量</td><td>【鍵村 昌範】</td></tr> <tr><td>7回</td><td>関門をめぐる健康の諸問題</td><td>【小笠原 正志】</td></tr> <tr><td>8回</td><td>下関で楽しめるアウトドアレジャー①</td><td>【井上 桂】</td></tr> <tr><td>9回</td><td>下関で楽しめるアウトドアレジャー②</td><td>【井上 桂】</td></tr> <tr><td>10回</td><td>北浦の海の文化</td><td>【安富 俊雄】</td></tr> <tr><td>11回</td><td>関門地域のスポーツイベントの経済効果①</td><td>【南 博】</td></tr> <tr><td>12回</td><td>関門地域のスポーツイベントの経済効果②</td><td>【南 博】</td></tr> <tr><td>13回</td><td>関門地域のランニング・サイクリング</td><td>【川原 崇】</td></tr> <tr><td>14回</td><td>関門地域のスポーツのあゆみ①</td><td>【中嶋 健】</td></tr> <tr><td>15回</td><td>関門地域のスポーツのあゆみ②</td><td>【中嶋 健】</td></tr> </table>	1回	オリエンテーション	【小笠原 正志】	2回	子ども運動	【松崎 守利】	3回	長州藩に伝わる水泳訓練	【那須 章浩】	4回	健康で過ごすための運動	【鍵村 昌範】	5回	健康で過ごすための食事	【宗 まりこ】	6回	若さと健康維持のための必要活動量	【鍵村 昌範】	7回	関門をめぐる健康の諸問題	【小笠原 正志】	8回	下関で楽しめるアウトドアレジャー①	【井上 桂】	9回	下関で楽しめるアウトドアレジャー②	【井上 桂】	10回	北浦の海の文化	【安富 俊雄】	11回	関門地域のスポーツイベントの経済効果①	【南 博】	12回	関門地域のスポーツイベントの経済効果②	【南 博】	13回	関門地域のランニング・サイクリング	【川原 崇】	14回	関門地域のスポーツのあゆみ①	【中嶋 健】	15回	関門地域のスポーツのあゆみ②	【中嶋 健】
1回	オリエンテーション	【小笠原 正志】																																												
2回	子ども運動	【松崎 守利】																																												
3回	長州藩に伝わる水泳訓練	【那須 章浩】																																												
4回	健康で過ごすための運動	【鍵村 昌範】																																												
5回	健康で過ごすための食事	【宗 まりこ】																																												
6回	若さと健康維持のための必要活動量	【鍵村 昌範】																																												
7回	関門をめぐる健康の諸問題	【小笠原 正志】																																												
8回	下関で楽しめるアウトドアレジャー①	【井上 桂】																																												
9回	下関で楽しめるアウトドアレジャー②	【井上 桂】																																												
10回	北浦の海の文化	【安富 俊雄】																																												
11回	関門地域のスポーツイベントの経済効果①	【南 博】																																												
12回	関門地域のスポーツイベントの経済効果②	【南 博】																																												
13回	関門地域のランニング・サイクリング	【川原 崇】																																												
14回	関門地域のスポーツのあゆみ①	【中嶋 健】																																												
15回	関門地域のスポーツのあゆみ②	【中嶋 健】																																												
授業に対する準備事項																																														
成績評価の方法	講義ごとの質問や感想 50%、レポート 50%																																													

科目名	地域文化遺産の保存・活用
担当者名	清水 憲一（九州国際大学 経済学部特任教授）

履修条件	1年以上	単位数	2単位
期間	9月12日（月）～9月16日（金） 10:40～16:10（2時限～4時限）		
講義会場	九州国際大学 地域連携センター サテライトキャンパス		
科目提供大学	九州国際大学		

授業のねらい・テーマ	身の回りの文化遺産を地域活性化のために活用することの意義と活用例を考える。文化財、近代化遺産あるいは産業遺産などと表されている地域の歴史文化遺産をどのように保存・活用して、まちづくり・地域活性化に役立てていくか。全国と関門地域の事例をとりあげ、①いかに評価するか、価値をどのように見出すか、②保存のあり方（住民運動／保存・修復）、③活用のされ方（公的・民間／商業的利用）、という視点から検証していく。具体的事例を踏まえて、理論的な整理を展望する。
テキスト	講義資料を配付する。
参考文献	伊東 孝『日本の近代化遺産－新しい文化財と地域の活性化』岩波新書
授業内容またはスケジュール	<p>はじめに：評価、保存、活用の「3つの視点」の意味するところ・重要性について、世界文化遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産」、そして産業考古学会における個人的な体験を踏まえて問題提起を行う。</p> <p>1回</p> <p>2回 歴史的背景：近年、地域経済の「疲弊化」が深刻になる中で、国・地域のまちづくり・活性化施策において、歴史文化遺産の活用が注目されるようになった要因は？文化財行政の変貌。対象の拡大・深化／活用の重視</p> <p>3回 全国的概要：各種施策による全般的概要（世界遺産、指定・登録の文化財、町並み、文化的景観、近代化産業遺産／学会の推薦遺産など）</p> <p>4回 世界文化遺産による地域活性化：石見銀山、富岡製糸場</p> <p>5回 伝建地区によるまちづくり：全国 妻籠 桐生 近江八幡</p> <p>6回 鉱山遺跡の活用：生野、別子、足尾</p> <p>7回 小樽と近代化遺産：小樽運河の保存運動からまちづくり／近代化遺産の商業的利用</p> <p>8回 萩とエコミュージアム：「屋根のない博物館」による観光まちづくり</p> <p>9回 下関の保存と活用：第一別館、英国領事館など</p> <p>10回 北九州の近代化遺産：どのようなものがあるか その特徴</p> <p>11回 北九州・門司港レトロ事業：あゆみと現状 門司港駅舎の復元</p> <p>12回 北九州から価値あるものが消えてゆく：折尾駅舎 村野藤吾建築</p> <p>13回 地域の文化遺産を発見する：近代化遺産の見方・楽しみ、魅力を発見するために、「押さえ処」を知っておく。</p> <p>14回 博物館・資料館を楽しむ：関門地域では、どこに、なにが保存・所蔵され、展示されているか。 田川市石炭・歴史博物館など</p> <p>15回 まとめ</p>
授業に対する準備事項	1回目に講義資料を配布するので、授業にあたっては、配布資料を予習・復習に活用してほしい。また、参考書を必読とする。
成績評価の方法	レポートによる。課題は最終回に提示する。

科 目 名	北九州・下関地域の魅力ある企業を知る
担 当 者 名	内田 晃（北九州市立大学地域戦略研究所教授）

履 修 条 件	1年以上	単 位 数	2単位
期 間	8月29日（月）～9月2日（金） 10:40～16:10（2時限～4時限）		
講 義 会 場	北九州市立大学サテライトキャンパス		
科目提供大学	北九州市立大学（COC+事業）		

授業のねらい・テーマ	北九州・下関地域の企業や産業の特性について、地場大手・中堅企業を中心に様々な業種の企業関係者を講師に招き話を伺います。自社の強み、独自性・独創性、将来展望などをはじめ、本地域で創業するに至った経緯、自社や業界を取り巻く環境、地域社会との関わりなどについて、業種横断的に幅広く知ることを通じ、本地域の企業や産業に対する理解と関心を深めていくことができます。		
テ キ ス ト	適宜資料を配布します。		
参 考 文 献	『福岡の会社情報 2016年版』ふくおか経済・地域情報センター 『会社四季報 2016年3集・夏号』東洋経済新報社 『会社四季報業界地図 2016年版』東洋経済新報社 『日経業界地図 2016年版』日本経済新聞社		
授業内容またはスケジュール	1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 三井ハイテック 【人事教育部 グループ長 溝田 誠司】 ・株式会社 スターフライヤー 【代表取締役社長執行役員 松石 禎己】 ・株式会社 不動産中央情報センター 【代表取締役社長 濱村 美和】 	
	2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・極東ファディ 株式会社 【取締役 オムニチャンネル戦略室長 吉水 請子】 ・株式会社 みずほ銀行 【プロジェクトファイナンス営業部 PPP 推進室長 井上 真】 ・株式会社 ゼンリン 【人事部人事課 小林 直樹/加藤 里沙】 	
	3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人 健和会 【専務 塩塚 啓史 または 人事部長 光廣 真】 ・株式会社 安川電機 【人事総務部 総務部長 目原 弘一】 ・株式会社 リーガロイヤルホテル小倉 【グループサービスチーム 担当部長 竹之内 豊文】 	
	4日目	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 サンキュードラッグ 【人財育成部次長 網本 光宏】 ・福岡ひびき信用金庫 【業務部業務部長（常勤理事） 瀧口 秀一】 ・シャボン玉石けん 株式会社 【総務部総務課長 木原 大介】 	
	5日目	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 タカギ 【人事部長 福島 孝志】 ・株式会社 井筒屋 【代表取締役社長 影山 英雄】 ・振り返り 【北九州市立大学地域戦略研究所 特任准教授 田中 ひろみ】 	
授業に対する準備事項	各企業の業務内容やその企業が属する業界について、参考文献や企業のウェブサイト等を見て事前に情報収集をしておくこと。		
成績評価の方法	1日3コマある講義へは必ず出席してください。各講義の最後に小レポートを提出してもらいます。また、5日目の最終講義では全体を通した振り返りを行い、最終レポートを提出してもらいます。		

科 目 名	北九州市の工場見学を通して、ものづくりと環境について学ぶ(産学公連携講座)
担 当 者 名	見館 好隆

履 修 条 件	1年次以上	単 位 数	2単位
期 間	8月29日(月) ~ 9月1日(木)		
講 義 会 場	各企業・団体 及び 北九州まなびとキャンパス		
科目提供大学	北九州市立大学		

授業のねらい・テーマ	北九州市の各施設および、日本を代表するものづくり企業の工場を見学しながら、現場の専門家から事業や仕事内容はもちろん、特に環境など社会貢献部分についての講義を受講することで、北九州市および環境への貢献を軸に、日本における将来へのものづくりの持続的な在り方を理解する(ESD)。同時にものづくり企業に対する視野を広げることも意識する(キャリア教育)。				
テキスト	特になし。施設ごとに資料が配布されます。				
参 考 文 献	特にありませんが、講義時に質問ができるように、事前に企業団体の web サイトを読み込んであらかじめ質問を用意してください。なお、視察先は先方の都合によって変わります。 【昨年度実績】ゼンリン地図の資料館、北九州エコタウン、シャボン玉石けん、日産自動車九州、タカギ、新日鐵住金 八幡製鉄所、西原商事、サンアクア TOTO				
授業内容またはスケジュール		コマ数	概要	内容	場所
	1 日 目	0.5	ガイダンス	授業目的や目標、評価方法など	バスの中
		1.5	①見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設①
		1.5	②見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設②
		0.5	振り返り	1日目の振り返り	バスの中
	2 日 目	1.5	③見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設③
		1.5	④見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設④
		0.5	振り返り	2日目の振り返り	バスの中
	3 日 目	1.5	⑤見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設⑤
		1.5	⑥見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設⑥
		0.5	振り返り	3日目の振り返り	バスの中
	4 日 目	1.5	⑦見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設⑦
		1.5	⑧見学と講義	ものづくりと環境への貢献を学ぶ	企業・工場・施設⑧
1.0		振り返り 総括	4日目の振り返り、全日程の振り返りを統合するためのグループワーク、最終レポート指示	まなびとキャンパス	
授業に対する準備事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終レポートは全行程に参加しなければ書けません。よって全行程参加が原則です。 ● 服装はクールビズが基本です。例えば、穴の開いたジーパンなどカジュアルな服装での参加はできません。また、見学先によっては別途服装の指定があります。 ● 授業前日までに、学研災保険のAコース(賠償責任保険)に加入していただきます。 ● バスでの移動が主となりますので、苦手な人は履修しないでください。 ● 講義時に質問ができるかが評価のポイントの一つです。予習してきてください。 				
成績評価の方法	授業 80%(講義時の質疑応答と終了後の小レポート)、最終レポート 20%				

科目名	課題解決演習～デザイン思考による課題解決～
担当者名	梶谷克彦（西日本工業大学デザイン学部講師）

履修条件	1年以上	単位数	2単位
期間	8月17日（水）～8月19日（金） 9:00～17:50（1時限～5時限）		
講義会場	西日本工業大学 地域連携センター 2階		
科目提供大学	西日本工業大学		

授業のねらい・テーマ	<p>複雑な要因が絡み合う課題解決のスキルを、デザイン思考を通して学ぶ短期集中型の演習。</p> <p>デザイン思考の実践的スキルの養成を通じて、洞察力、課題解決能力、ディスカッション力の習得を目指すことに重点を置く。</p> <p>課題解決手法の基礎的な知識習得と演習を行う PBL 形式の演習。</p> <p>成果目標として、北九州のまちづくりに関するプラン制作を行う。</p> <p>なお、当演習は、グラフィックデザインや映像制作などの「デザインスキル」は問わない。</p>
テキスト	教科書は使用せず、適宜資料を配布する。
参考文献	
授業内容またはスケジュール	<p>1回 ビジョンの共有化（チームビルディング）</p> <p>2回 基礎講座1 問題解決の基礎講座</p> <p>3回 基礎演習1 簡易的な問題解決演習</p> <p>4回 基礎講座2 デザイン思考のステップに関する基礎講座</p> <p>5回 基礎演習2 簡易的な問題解決演習</p> <p>6回 課題レクチャー</p> <p>7回 フィールドワーク準備</p> <p>8回 フィールドワーク1 北九州の街でフィールドワークの実施を行う。</p> <p>9回 フィールドワーク2 北九州の街でフィールドワークの実施を行う。</p> <p>10回 フィールドワークのまとめと洞察 分析と洞察</p> <p>11回 アイデアプランディスカッション</p> <p>12回 試作品制作・テスト1</p> <p>13回 試作品制作・テスト2</p> <p>14回 プレゼンテーション（チームごとのプレゼンテーション）</p> <p>15回 プレゼンテーションと振り返り</p>
授業に対する準備事項	動きやすい服装で参加すること。
成績評価の方法	発表・行動等を総合的に評価する。